

事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109100h0003
研究開発課題名 : 自己炎症性疾患の治療標的分子同定および薬剤開発基盤整備
研究代表機関名 : 国立大学法人京都大学
研究開発代表者名 : 平家俊男

評価委員会のコメント :

○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

国内の疾患症例が集積され系統的な検討が可能である。すでにターゲットが同定されている疾患がある。

多数の英文論文による成果発表がなされた。

候補探索のスクリーン評価系確立の達成意義は大きい。

各疾患について当初の予定の事業はかなり達成できている。創薬への薬剤探索もいくつかの系で進捗が見られている。

炎症性疾患の病態解明のためのレジストリが形成されている。

○疑問点、改善すべき点、その他助言等

治療薬開発という目標には大分距離が残されている点。

具体的なシーズの同定は今後の課題である。

論文発表がやや少ないことと、新規薬剤探索の進捗が芳しくない。

多くの疾患の病態解明から治療薬開発までが組み込まれている。

以上